



募金箱デザイン画 部門
中学生の部 最優秀賞

中萩中学校 3年 山内 麗央



募金箱デザイン画 部門
高校生の部 最優秀賞

新居浜南高校 2年 田中来幸



福祉作文 部門 高校生の部 最優秀賞

介護の仕事に携わろうとしている自分にできること 新居浜南高校 3年 大塚 沙希

私は、今年の6月に福祉施設を訪問し、介護実習を行いました。そこで施設の概要を理解し、食事介助、水分作り・水分介助、入所されている利用者さんとのコミュニケーションをさせていただきました。

水分介助では、最初は介助の仕方が分からず不安でしたが、介助する際の声掛けの仕方やタイミングなどを職員さんから教えていただき、実践しました。食事介助の場面では、利用者さんに食事を配膳したり、実際に利用者さんの食事介助をさせていただいたりしました。介助を行っていて、「スプーンに乗せる食事の量」や「利用者さんが口を開けてくれない時の対処法」など色々な疑問を抱き、職員さんに質問してみると、「スプーンの3分の2ぐらいまで食事を乗せて利用者さんの口に持っていく」ことや「利用者さんが口を開けてくれない時は『もう一口食べませんか?』と声掛けを行うことが大事。」と教えていただきました。そのおかげで利用者さんに寄り添った介助を行うことができました。担当利用者さんとのコミュニケーションを多く図ることができ、その人の性格や個性について知ることができました。コミュニケーションを図る際には今の話題について話し、担当利用者さんの話を聞くとときは、「傾聴・共感」の意識を持つことを忘れずにコミュニケーションを図りました。

先日、スマートフォンのニュースを見ていて、「ある2つの介護施設で高齢者差別を行っていたとして

行政処分を受けた。」というニュースが流れてきて、そのニュースを見たときに「介護職の人数が減っていくと、介護人材不足となり施設内で高齢者虐待が起こってしまう。」と思いました。現在では高齢者虐待が多くなっていて、なぜ虐待はなくなるかと疑問に思い、調べてみました。その結果、高齢者虐待の原因は「介護者側のストレス」、「専門的な知識や意識の不足」などが挙げられていて、特に身体拘束に関する知識や意識が不足していると虐待が起こってしまうことが分かりました。このような虐待を防止するために介護職にできることを調べてみると、介護職にできることは職員のストレスケアや職場環境の改善などが挙げられており、「自分が勉強してきたことより多くのことが調べてみて分かったから、もっと虐待防止の方法についての知識を身に付けていこう。」と思いました。

次回の施設実習では、どの介助に対しても事前にもっと勉強して、積極的に介助の見学を行い、介助の実施を職員さんから言われる前に自分から積極的に申し出たり、介助をしていて少しでも疑問に思ったことはすぐに職員さんに質問して解決していきたいです。また、担当利用者さんだけでなく、他の利用者さんとも積極的にコミュニケーションを図り、コミュニケーション能力を今以上に高めていき、今後の自分の人生に生かせるようにしたいです。



募金箱デザイン画 部門 優秀賞

【小学生(低学年)の部】

宮西小学校 1年 栗田 粹糸

宮西小学校 3年 栗田 紡希

【小学生(高学年)の部】

金栄小学校 6年 大熊 遥香

泉川小学校 6年 本田 まゆら

【中学生の部】

南中学校 1年 杉本 真優果

泉川中学校 1年 森本 みあ

【高校生の部】

新居浜商業高校 1年 加藤 百咲

新居浜工業高校 1年 越智 太慈



福祉作文 部門 優秀賞

【中学生の部】

中萩中学校 3年 上野 りつ

「夏休み中のボランティアを通して学んだこと」

【高校生の部】

新居浜南高校 3年 曾我部 愛樹

「ボランティア活動から感じたこと」

入賞作品は
こちらから
ご覧ください



ボランティア・市民活動センターHP